

提言(6)

中・長期対策を実施するため、基本的に必要なこと

- ・ Eliminationを視点においた国としての国際的宣言
ポリオ根絶委員会の様に麻疹排除委員会の設置
- ・ サーベイランスの強化
全数報告制の導入
実験室診断の導入 (IgM抗体、ウイルス分離、遺伝子診断)
感染症流行予測調査等による、血清疫学調査によるモニター継続、強化
- ・ これに見合う、ワクチン量、試薬類の確保

提言(7)

中・長期対策を実施するため、基本的に必要なこと

- ・ 国、研究機関、学会、保健行政実施機関、ワクチンメーカー、メディア、一般国民などを含んだ、ワクチンに関する中長期的プランに関する助言、提案機関の設置(米国ACIPが手本となる)
- ・ 麻疹対策と風疹対策(先天性風疹症候群対策)はほぼ同様の戦略が可能であるため、多くの先進諸国同様、麻疹対策も同時に行う。
MRワクチンの使用(多くの先進諸国はMMRを使用)
- ・ 予防接種には、極めてまれであるが健康被害事故が起こり得る
これに対して、明らかに因果関係が否定できるものは除き、法的責任問題とは別個に、疑わしき事例、因果関係が考えられる事例への救済を手厚く行う(不測の事態、予見不可能な事態に対する無過失の保証、救済措置)